

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道ハイテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ITメディア学科		10 単位	90 単位	
	宇宙・ロボット学科		12 単位	90 単位	
	AIスマートアグリ学科		270 時間	240 時間	
医療専門課程	救急救命士学科		255 時間	240 時間	
	義肢装具士学科		305 時間	240 時間	
	鍼灸師学科		405 時間	240 時間	
	スポーツ鍼灸師学科		405 時間	240 時間	
	柔道整復師学科		270 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校で公開しているホームページ上にて公開の他、シラバス上で実務経験のある教員について明記し、学生便覧を通じて学生に告知する。
URL : <https://www.hht.ac.jp/resources/pdf/abm2024-07-2.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道ハイテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.jikeigakuen.ac.jp/information>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元(江戸川区)の名士として学校と地域の連携を図る。
非常勤	株式会社役員	令和6年6月1日～ 令和9年5月31日	地元(北海道)の名士として学校と地域の連携を図る。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道ハイテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年、自己点検・自己評価委員会を開催し、教育成果について教育評価を行い、自己点検した内容を元に学校関係者評価委員会において専門学校における教育の方向性と改善点について協議を行っている。また、学校関係者評価委員会での教育指針ならびに改善提案を踏まえ、各分野の委員と年2回の教育課程編成委員会を設け、業界目線による開講科目、内容などの見直しを諮り、カリキュラムを立案している。 また、作成されたカリキュラムは「ディプロマポリシー」「カリキュラムポリシー」「アドミッションポリシー」に則り、学年目標、取得目標資格、就職分野を明確にして、科目ごとのシラバスから毎時間のコマシラバスまでを表示し学生へ公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>Web サイト上で公開 https://www.hht.ac.jp/prospectus/disclose-information/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修成果の評価については、各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験(追試験・再試験含む)を実施し評価を行っている。試験実施の1週間前までに、その日時・方法を公示し、原則として実質50分間の試験(論文・レポート・実技・実習を含む)を行い、指導目標に対する学生の学修状況を勘案し、同じ基準に基づいて単位認定会議で単位評価評定を行う。 単位の評価評定は、学生の学修意欲の向上及び適切な修学指導に役立たせると共に、海外への留学や就職等、国際的な評価に対応することを目的として Grade Point Average(以下 GPA という)による評価を実施している。また、成績については各個人へのフィードバックと保護者に成績通知表の送付を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価における評価点は、試験、平素の学習状況、出席状況の3要素により、評価する。成績は、100点法とし、60点以上を合格のDとする。</p> <p>GPAを算出する計算式は以下の、客観的な指標の算出方法以下のとおりである。(GPの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入するものとする。)</p> <table border="1"> <tr> <td>実点数範囲</td> <td>100~90</td> <td>89~80</td> <td>79~70</td> <td>69~60</td> <td>59点以下または不合格</td> </tr> <tr> <td>成績評価</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>GP</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> </tr> </table> <p>【GPAを算出する計算式】</p> <p>GPA=</p> <p>(該当授業科目の単位数×各授業科目で得たGP)の合計……①</p> <p>当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計……②</p>		実点数範囲	100~90	89~80	79~70	69~60	59点以下または不合格	成績評価	A	B	C	D	E	GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0
実点数範囲	100~90	89~80	79~70	69~60	59点以下または不合格														
成績評価	A	B	C	D	E														
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0														
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>Webサイト上で公開</p> <p>https://www.hht.ac.jp/prospectus/disclose-information/</p>																		
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定は、卒業までに必要なすべての授業科目の単位について単位認定試験(追試験・再試験含む)による単位を修得した者を対象として、学校長、教務部長及び学科教員による卒業判定会議において学校長が認定を行う。</p> <p>卒業が認定されない学生は留年、もしくは卒業延期となる。</p> <p>卒業判定の結果は、本人及び保護者へ直接告知する。留年及び卒業延期者については、今後の本人の希望を優先した進路についてカウンセリングを実施し、将来のキャリアの方向性を決定する。同時に、卒業に必要な単位を取得するための補講並びに補習、試験を実施し、合格点に達した者について再度卒業判定会議を実施して卒業の認定を行う。</p>																			
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>Webサイト上で公開</p> <p>https://www.hht.ac.jp/prospectus/disclose-information/</p>																		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道ハイテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
収支計算書又は損益計算書	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
財産目録	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
事業報告書	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
監事による監査報告（書）	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ITメディア学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	90 単位	74 単位	31 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			105 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		241 人	5 人	4 人	33 人	37 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）毎年開催している自己点検・自己評価委員会、学校関係者評価委員会、実習連携先の企業などを通して外部からの意見をカリキュラムに反映させ、学年ごとの到達目標を設定する。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験（追試験・再試験含む）を実施し評価（以下 GPA という）による評価を実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要）（概要）卒業・進級の認定は、学校長、教務部長及び学科教員による卒業・進級判定会議において学校長が認定を行う。認定とならなかった者については、補講並びに補習、試験を実施し、合格点に達した者について再度判定会議を実施して認定を行う。
学修支援等
（概要）授業、課題等による学修支援の他、スクールカウンセラーによるメンタル面を含めたサポート、キャリアセンターにおける就職支援、学生サービスセンターによる学生生活全般の支援を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
81 人 (100%)	2 人 (2%)	73 人 (90%)	6 人 (7%)
（主な就職、業界等）IT 業界			
（就職指導内容）個別面談により、個々の希望に合わせ、産学・高専連携センターと連携し、履歴書添削指導、面接指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等））NoMaps、北海道警察、レバンガ SAPPORO による特別講義を通しての連携、ネットトラブル防止教室などのイベント開催、ローカル・クリエイターズ・エキシビション 5 などのイベント参加。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
260 人	6 人	2.3%
(中途退学の主な理由) 目的意識低下による成績不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアサポートアンケートによる特性の分析、学科教員による個人面談、スクールカウンセラーによるカウンセリングなどを通じて学生一人ひとりに向き合い、学業の諸問題と学生生活全般を保護者、必要に応じて学内他部署スタッフ、寮長も交え、チームで対応しサポートする。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	宇宙・ロボット学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	90単位	12単位	84単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			96単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		23人	1人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）毎年開催している自己点検・自己評価委員会、学校関係者評価委員会、実習連携先の企業などを通して外部からの意見をカリキュラムに反映させ、学年ごとの到達目標を設定する。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験（追試験・再試験含む）を実施し評価（以下GPAという）による評価を実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要）（概要）卒業・進級の認定は、学校長、教務部長及び学科教員による卒業・進級判定会議において学校長が認定を行う。認定とならなかった者については、補講並びに補習、試験を実施し、合格点に達した者について再度判定会議を実施して認定を行う。
学修支援等
（概要）授業、課題等による学修支援の他、スクールカウンセラーによるメンタル面を含めたサポート、キャリアセンターにおける就職支援、学生サービスセンターによる学生生活全般の支援を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）エンジニア業界			
（就職指導内容）個別面談により、個々の希望に合わせ、産学・高専連携センターと連携し、履歴書添削指導、面接指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
<ul style="list-style-type: none"> 産業用ロボットの教示等の作業に関する特別教育（第36条第31号）の課程修了 2024スペースプロブコンテスト3位入賞 恵庭市産業祭陸上ドローン操作体験ブース出展 浦河町福祉施設ロボット・テクノロジー講習開催 			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	3 人	12%
(中途退学の主な理由) 目的意識低下による成績不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアサポートアンケートによる特性の分析、学科教員による個人面談、スクールカウンセラーによるカウンセリングなどを通じて学生一人ひとりに向き合い、学業の諸問題と学生生活全般を保護者、必要に応じて学内他部署スタッフ、寮長も交え、チームで対応しサポートする。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	AI スマートアグリ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2400 単位時間	255 単位	1560 単位 時間	840 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2400 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		31 人	4 人	3 人	12 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）毎年開催している自己点検・自己評価委員会、学校関係者評価委員会、実習連携先の企業などを通して外部からの意見をカリキュラムに反映させ、学年ごとの到達目標を設定する。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験（追試験・再試験含む）を実施し評価（以下 GPA という）による評価を実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要）（概要）卒業・進級の認定は、学校長、教務部長及び学科教員による卒業・進級判定会議において学校長が認定を行う。認定とならなかった者については、補講並びに補習、試験を実施し、合格点に達した者について再度判定会議を実施して認定を行う。
学修支援等
（概要）授業、課題等による学修支援の他、スクールカウンセラーによるメンタル面を含めたサポート、キャリアセンターにおける就職支援、学生サービスセンターによる学生生活全般の支援を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	0 人 (0%)	8 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 農業 農機具メーカー			
就職指導内容）個別面談により、個々の希望に合わせ、産学・高専連携センターと連携し、履歴書添削指導、面接指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等））スマート農業共同体、キセキ北海道による連携授業実施、近郊の農場での農作物の空撮と画像解析結果の提供、岩見沢市スマート・アグリシティコンソーシアムによる無人走行トラクター遠隔監視制御実証の見学など。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	4 人	14.8%
(中途退学の主な理由) 目的意識低下による成績不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアサポートアンケートによる特性の分析、学科教員による個人面談、スクールカウンセラーによるカウンセリングなどを通じて学生一人ひとりに向き合い、学業の諸問題と学生生活全般を保護者、必要に応じて学内他部署スタッフ、寮長も交え、チームで対応しサポートする。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	救急救命士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2638 単位時間	1245 単位 時間	240 単位 時間	1153 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2638 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		302 人	0 人	6 人	23 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）毎年開催している自己点検・自己評価委員会、学校関係者評価委員会、実習連携先の企業などを通して外部からの意見をカリキュラムに反映させ、学年ごとの到達目標を設定する。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験（追試験・再試験含む）を実施し評価（以下 GPA という）による評価を実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要）（概要）卒業・進級の認定は、学校長、教務部長及び学科教員による卒業・進級判定会議において学校長が認定を行う。認定とならなかった者については、補講並びに補習、試験を実施し、合格点に達した者について再度判定会議を実施して認定を行う。
学修支援等
（概要）授業、課題等による学修支援の他、スクールカウンセラーによるメンタル面を含めたサポート、キャリアセンターにおける就職支援、学生サービスセンターによる学生生活全般の支援を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
97 人 (100%)	1 人 (1%)	86 人 (88.6%)	10 人 (10%)
（主な就職、業界等）消防、病院など			
（就職指導内容）消防学校などの見学、マラソン大会 AED 隊としての参加を通して意識付けを行い、公務員試験対策や体力テスト対策をカリキュラムに組む他、面接指導などもキャリアセンターと連携して一人ひとりに対応している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 救急救命士国家試験 97名受験、93名合格、合格率 95.9%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
316 人	14 人	4.4%
(中途退学の主な理由) 目的意識低下による成績不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアサポートアンケートによる特性の分析、学科教員による個人面談、スクールカウンセラーによるカウンセリングなどを通じて学生一人ひとりに向き合い、学業の諸問題と学生生活全般を保護者、必要に応じて学内他部署スタッフ、寮長も交え、チームで対応しサポートする。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	義肢装具士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2970 単位時間	855 単位 時間	450 単位 時間	1665 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2970 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		10人	1人	4人	9人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）毎年開催している自己点検・自己評価委員会、学校関係者評価委員会、実習連携先の企業などを通して外部からの意見をカリキュラムに反映させ、学年ごとの到達目標を設定する。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験（追試験・再試験含む）を実施し評価（以下 GPA という）による評価を実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要）（概要）卒業・進級の認定は、学校長、教務部長及び学科教員による卒業・進級判定会議において学校長が認定を行う。認定とならなかった者については、補講並びに補習、試験を実施し、合格点に達した者について再度判定会議を実施して認定を行う。
学修支援等
（概要）授業、課題等による学修支援の他、スクールカウンセラーによるメンタル面を含めたサポート、キャリアセンターにおける就職支援、学生サービスセンターによる学生生活全般の支援を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	9人 (75%)	3人 (25%)
（主な就職、業界等） 義肢装具関連企業、病院など			
（就職指導内容） 臨床実習前後、また、障がい者スポーツ大会等への関わりを通して、現場を学び、他の養成校との合同企業説明会を開催する他、面接指導などもキャリアセンターと連携して行い一人ひとりに対応している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 障がい者スポーツ初級指導員 北海道ボッチャ公認審判員 義肢装具士国家試験：12名受験 8名合格 合格率 66.6%			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	柔道整復師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2775 単位時間	1305 単位 時間	750 単位 時間	720 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2775 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		58人	0人	5人	22人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）毎年開催している自己点検・自己評価委員会、学校関係者評価委員会、実習連携先の企業などを通して外部からの意見をカリキュラムに反映させ、学年ごとの到達目標を設定する。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験（追試験・再試験含む）を実施し評価（以下 GPA という）による評価を実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要）（概要）卒業・進級の認定は、学校長、教務部長及び学科教員による卒業・進級判定会議において学校長が認定を行う。認定とならなかった者については、補講並びに補習、試験を実施し、合格点に達した者について再度判定会議を実施して認定を行う。
学修支援等
（概要）授業、課題等による学修支援の他、スクールカウンセラーによるメンタル面を含めたサポート、キャリアセンターにおける就職支援、学生サービスセンターによる学生生活全般の支援を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	23人 (92%)	2人 (8%)
（主な就職、業界等） 施術所勤務（接骨院、整骨院など）			
（就職指導内容） 学内企業説明会開催の他、個別面談により、個々の希望に合わせ、キャリアセンターと連携し、履歴書添削指導、面接指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師国家試験：25名受験、10名合格、合格率40% 一般社団法人キネシオテーピング協会 認定トレーナー（CKTP） 公益財団法人日本パラスポーツ協会 初級パラスポーツ指導員			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	4人	5.5%
(中途退学の主な理由) 目的意識低下による成績不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアサポートアンケートによる特性の分析、学科教員による個人面談、スクールカウンセラーによるカウンセリングなどを通じて学生一人ひとりに向き合い、学業の諸問題と学生生活全般を保護者、必要に応じて学内他部署スタッフ、寮長も交え、チームで対応しサポートする。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	鍼灸師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2715 単位時間	1275 単位 時間	450 単位 時間	990 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2715 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		28人	1人	6人	34人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）毎年開催している自己点検・自己評価委員会、学校関係者評価委員会、実習連携先の企業などを通して外部からの意見をカリキュラムに反映させ、学年ごとの到達目標を設定する。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験（追試験・再試験含む）を実施し評価（以下 GPA という）による評価を実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要）（概要）卒業・進級の認定は、学校長、教務部長及び学科教員による卒業・進級判定会議において学校長が認定を行う。認定とならなかった者については、補講並びに補習、試験を実施し、合格点に達した者について再度判定会議を実施にて認定を行う。
学修支援等
（概要）授業、課題等による学修支援の他、スクールカウンセラーによるメンタル面を含めたサポート、キャリアセンターにおける就職支援、学生サービスセンターによる学生生活全般の支援を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	16人 (94.1%)	1人 (5.8%)
（主な就職、業界等） はり・きゅう治療院、鍼灸接骨院			
（就職指導内容） 学内企業説明会開催の他、個別面談により、個々の希望に合わせ、キャリアセンターと連携し、履歴書添削指導、面接指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） はり師国家試験、きゅう師国家試験とも 15名受験、14名合格、合格率 93.3%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	1 人	3%
(中途退学の主な理由) 目的意識低下による成績不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアサポートアンケートによる特性の分析、学科教員による個人面談、スクールカウンセラーによるカウンセリングなどを通じて学生一人ひとりに向き合い、学業の諸問題と学生生活全般を保護者、必要に応じて学内他部署スタッフ、寮長も交え、チームで対応しサポートする。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	スポーツ鍼灸師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2745 単位時間	1320 単位 時間	480 単位 時間	945 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2745 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		22人	1人	6人	8人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）毎年開催している自己点検・自己評価委員会、学校関係者評価委員会、実習連携先の企業などを通して外部からの意見をカリキュラムに反映させ、学年ごとの到達目標を設定する。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験（追試験・再試験含む）を実施し評価（以下 GPA という）による評価を実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要）（概要）卒業・進級の認定は、学校長、教務部長及び学科教員による卒業・進級判定会議において学校長が認定を行う。認定とならなかった者については、補講並びに補習、試験を実施し、合格点に達した者について再度判定会議を実施して認定を行う。
学修支援等
（概要）授業、課題等による学修支援の他、スクールカウンセラーによるメンタル面を含めたサポート、キャリアセンターにおける就職支援、学生サービスセンターによる学生生活全般の支援を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
IT メディア学科	100,000 円	600,000 円	500,000 円	
宇宙・ロボット学科	100,000 円	600,000 円	500,000 円	
AI スマートアグリ学科	100,000 円	600,000 円	500,000 円	
救急救命士学科	200,000 円	700,000 円	480,000 円	
柔道整復師学科	200,000 円	700,000 円	370,000 円	
鍼灸師学科	200,000 円	700,000 円	370,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hht.ac.jp/prospectus/disclose-information/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校法人滋慶学園北海道ハイテクノロジー専門学校が設置する専修学校における教育・運営活動等の状況について、自ら行う点検及び評価の項目並びにその実施体制等について検証し、問題点を把握の上目標を明確化し、必要な支援・改善を行うことにより、教育水準の向上と質の保証を図ることが重要である。また多くの外部評価を受けることにより学校評価の精度を高め委員会を組織して、客観性を持った評価による改善を目指したい。特に卒業生、保護者、地域住民、企業等との相互理解と連携を確立し、学校の説明責任を果たしていくよう努めることにより学校の組織力を高め地域に支えられる学校づくりにも貢献したい。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 フロンティアサイエンス	2024.4月～2026.3月	卒業生代表
学生の保護者	2024.4月～2026.3月	保護者代表
帯広大谷高等学校	2024.4月～2026.3月	高等学校関係者代表
北海道道議会議員	2024.4月～2026.3月	地域関係者代表
株式会社サングリン太陽園	2024.4月～2026.3月	工業分野業界代表
斜里地区消防組合消防本部	2024.4月～2026.3月	医療分野業界代表
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hht.ac.jp/prospectus/disclose-information/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hht.ac.jp/
--